



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話： 03-5550-2405

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院附属クリニック予防医療センター  
(代理) 消化器内科 大室 明美

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院附属クリニック予防医療センター  
消化器内科 鳴海 兼太

# 人間ドックにて発見された胃アニサキス症についての研究

## 1.研究の対象

2014年1月1日から2023年12月31日の10年間において、聖路加国際病院 附属クリニック予防医療センター（以下、当センター）において上部消化管内視鏡検査を受診された方の中で、胃アニサキス症と診断された方。

## 2.研究の目的・方法

胃アニサキス症は、寄生虫であるアニサキスにより腹痛などを生じる食中毒として知られています。一方、以前より腹痛などの症状が無いにも関わらず、胃内にアニサキス虫体が観察されることがあることが知られていました。しかしながらその頻度は稀であり、胃アニサキス症は現在の報告よりもさらに多くの症例がいることが推測されていますが、その頻度についての検討はほとんどありません。

当センターでは、腹痛の原因精査を目的とした内視鏡検査は施行していないことから、無症状もしくは比較的軽い症状の胃アニサキス症の方を経験することがあります。この研究では当センターにて検診目的にて上部消化管内視鏡検査を施行された受診者の中で、偶然に発見された胃アニサキス症例を抽出し、その発見頻度や検出時期、内視鏡所見や血液検査所見の特徴について検討を行いたいと考えております。

なお、この調査では通常診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載されている内容についての調査のみになります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年2月26日を予定しております。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

- 対象者背景:ID、性別、年齢、居住地(都道府県)、身長、体重 等
- 一般検査:血液検査(白血球数、白血球分画)、血液生化学検査(CRP) 等
- 内視鏡画像、病理学的診断(生検)がされている場合には、その所見 等